

来週は「病院の実力 脳腫瘍」の予定です

### 白内障の手術後 涙目に



6年前に白内障手術をしましたが、視力は回復しましたが、目に涙がたまりやすくなりました。目頭から鼻にかけての検査では異常がなく、結膜の手術後も良くなりません。「視神経乳頭陥凹拡大」と診断されました。ものが見えづらく、まぶたも重いです。(65歳女性)

木下 茂

京都府立医科大学  
感覚器未来医療学教授

(京都市)

まず、涙が目にあたまるのは、涙が出る通路が詰まっているか、細くなっていると考えられます。この場合、目から鼻へ抜ける涙道が狭くなり、通りが悪くなる狭窄の可能性もあります。

もしくば、何らかの刺激で涙の分泌が増えているのかもしれない。この場合、角膜は黒目(角膜)の上に傷があるか、白目(結膜)の下の方がたるむ結膜弛緩症などが考えられます。

たまた質問者は、涙道の狭窄はなく、結膜弛緩症に対する手術も受けているようなので、涙がたまると患者さんによくみられる症状とは違えます。

そうなるならドライアイの一つのタイプが想定されません。ドライアイでなぜ涙が

### ドライアイの可能性 専門医へ

たまると感じるか疑問に思いますが、涙の層の働きが不安定な人は角膜知覚が過敏になって、まばたきの回数が増えるため、見えづらい状態が続きます。

もう一つ、まぶたが重いと書かれています。まぶたの中には、脂を分泌するマイボーム腺という分泌腺があり、この機能が落ちていくために涙の層が不安定になっている可能性があります。これらの状態には対処する薬があるので、ドライアイ専門の眼科医を受診してみてもいいかがでしょうか。

なお、「視神経乳頭陥凹拡大」は正常眼圧緑内障の始まりかもしれません。視野検査などを受けることも考えてみてはいかがでしょうか。



### からだの質問箱



くらし健康